



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

第63号

令和3年(2021年)

2月1日発行

石川県宝達志水町議会



子ども見守り隊

雪の降る寒い日も夏の暑い日も、いつも笑顔で「おはよう」と声をかけ、地域の子どもたちを温かく見守っていただいています。(撮影能力の都合上、掲載できなかった方々にお詫び申し上げます。)

- 令和2年第4回定例会 2
- 議案に対する質疑 4
- 討論 5
- 「町政を問う」一般質問(8名) 7
- 特別委員会審議 16

年頭のごあいさつ



宝達志水町議会議長

柴田 捷

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい初春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

令和3年の年頭にあたり、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のあいさつを申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中に急速に蔓延し、未だに収束が見込めない状況にあります。町議会では、昨年の4月に新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置し、感染症予防対策、地域経済への支援、医療体制の強化等に取り組んで参りました。

また、町民に開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んでおります。取組のひとつとして、令和3年度には、議会の生中継をインターネット（YouTube）で見られるよう整備いたします。

今後とも、町民目線で町民本位の議会運営と機能強化を行い、町民の皆様方の負託に応えられるよう全力で取り組んで参りますので、なお一層の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして、素晴らしい年になりますよう心から祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。

令和2年第4回

定例会

12月3日～11日



▲議員政治倫理条例の一部を改正する条例の採決の様子

令和2年第4回町議会定例会が、12月3日から11日にかけて開催され、決算関係8件が認定されたほか、補正予算関係8件、条例3件、指定管理者の指定2件が可決されました。

最終日には、議案3件が追加提案され、町監査委員の選任についてが同意され、総務産業建設常任委員会発委による「防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書」の提出についてが可決されました。また、議会改革特別委員会発委による「宝達志水町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例について」では、関係する議員3人が退場する中、賛成3、反対4により否決となりました。

令和2年度 補正予算の状況

会 計 名		補正後の予算額	補 正 額
一	般 会 計	100億6,409万円	2,296万円
特別会計	国民健康保険	14億3,949万円	2,176万円
	後期高齢者医療	2億1,141万円	797万円
	介護保険	19億6,180万円	564万円
	ケーブルテレビ事業	9,571万円	
企業会計	水道事業	5億2,447万円	債務負担行為補正のみのため額の計上はなし
	下水道事業	15億1,760万円	
	病院事業	14億8,102万円	

補正予算の主な内容

ふるさと納税推進事業費

ふるさと納税の寄付額の増加により、業務委託料及びシステム使用料を増額する。



723万円

宝の住まいる応援事業費

マイホーム取得奨励金の申請件数の増加により、奨励金を増額する。



1,370万円

体育施設トイレ改修

公衆トイレの和式便器を洋式便器に改修する。



640万円

病院備品購入費

老朽化による修理不能となった医療機器の更新及び新規購入する。



920万円

議員別賛否の状況 (賛否が分かれた議案等のみ) ○：賛成 ×：反対 △：退場 欠：欠席

議案名		結果	岩根 信水	勝二 正人	松浦 文治	林 稔	塚本 勇仁	土上 猛	柴田 捷	守田 幸則	北本 俊一	金田 之治	小島 昌治	北 信幸
令和元年度	認定第1号 宝達志水町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	×	○	×	×	×
	認定第2号 宝達志水町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	×	×	○
	認定第3号 宝達志水町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	×	○
	認定第4号 宝達志水町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	×	○
	認定第5号 宝達志水町ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	×	○
	認定第6号 宝達志水町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	×	×	○
	認定第7号 宝達志水町下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	×	×	○
	認定第8号 宝達志水町病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	×
議案第60号 宝達志水町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	×	×	
発委第3号 宝達志水町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例について	否決	×	△	×	×	×	欠	-	△	△	○	○	○	

第4回定例会

◎人事関係

○監査委員の選任

柴田 捷 氏(新宮)
(任期は、令和4年12月31日まで)

第4回臨時議会 (11月30日)

第4回町議会臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策の対応等に係る補正予算1件、条例3件、財産の取得1件が可決されたほか、専決処分1件が承認されました。

◎補正予算の主な内容

- 新型コロナウイルス感染症対策
2,191万円
- コミュニティ施設整備事業費

集会施設へのエアコン設置や衛生環境保持及び改善。

○新型コロナウイルス対策事業費

100万円
65歳以上の高齢者等にPCR検査費用の一部を助成する。

○情報システム管理事業費

1,216万円
職員が在宅型テレワークを実施する際のノートパソコン等の整備を行う。

○小学校施設整備事業費

426万円
小学校の手洗い場の水栓を回転式・レバー式からプッシュ式に取り替える。

◎条例関係

人事院の給与の改定等に関する勧告により、議員、常勤の特別職及び一般職の職員の期末手当を減額するもの。

◎財産の取得

○学習用端末の購入

- ・納入場所 町内小中学校6校
- ・数量 710台
- ・契約金額 3,038万円

議案に対する質疑

◎第4回定例会



北 信幸 議員

質 北 議員

今議会の町長の提案理由説明では「効率的な財政運営をする」とある。それについてお聞きしたい。

4年前は「保育所や小学校は旧志雄・旧押水でそれぞれ一か所」と決めたはずである。今、「コロナが終息したら統廃合を考える」と言っているが、4年前の方針どおりにしていれば少しの支出ですむはずが、余分に予算が支出されている。小学校5校での蛇口の付け替えやエアコンの設置、トイレ改修などである。保育所にしても本年度4名の入所しかない北大海第一保育

所で大規模な改修工事が行われている。現在、北大海第一保育所の園児は相見保育所に通園しているが、「たくさんのお友達ができやすい」と言っている。

こういうことを踏まえれば「効率的な財政運営」がなされているといえるのか。言っていることとやっていることが矛盾していないか。

答 寶達町長

以前の議会で統合の合意があったという事はない。小学校というのは地域において人を育てていく大切な要となるような組織である。それを統廃合するかどうかは改めて多くの方々から意見を聞いて考え直す必要があると考えている。その間の蛇口の整備やトイレ改修、エアコンの設置は当然だと考えている。

質 北 議員

それではお聞きするが、宝達保育所の閉所に関しては議会での「保護者への十分な説明と納得」を条件にしていたのに、この議会決議後の説明会などは一切開かれることなく閉所が決められた。宝達保育所も含めて、寶達町長の言うすべての保育所・小学校の「改めて、多くの方からの意見聴取による判断」の対象になるのなら、寶達町長の答弁が成り立つが、なぜ、宝達保育所だけ閉所が強行されるかは「また、考える」なのか。

答 寶達町長

宝達保育所の閉所は、保育士の数の面や、子どものことなどを考慮して、「継続できない」と判断をした。また、コロナ禍の下、安全を守るのが第一で、統廃合は実施しにくいと判断しているためである。

反対討論!

◎11月臨時議会



小島 昌治 議員

私は今臨時議会に提案された議案についての討論を行う。

議案58号及び議案59号の町長や副町長、議員の報酬引下げ案については反対しない。

しかし、議案第60号の一般職員給与引下げについては反対する。以下、反対する理由を述べる。

10年前の宝達志水町の財政逼迫の状態を、当時の町長と協力し、今では県内トップクラスの財政に立て直したのは町職員である。そして今、新型コロナウイルス対策の最前線で奮闘しているのも町職員である。今回の給与引下げの総額は300万円である。

今の町の財政状況では引下げる必要のない金額である。また、町職員の給与は県内の市町職員で最も低いレベルである。今回の引下げによって頑張っている職員の意欲を低下させる可能性のあること

を指摘し、議案第60号の反対討論とする。

反対討論!

◎第4回定例会

令和元年度決算討論

小島 昌治 議員

まじめな少子化・人口増対策を

寶達町長はこの年、「少子化に対応した予算を組む」と公言しながら、最初に議会に提案してきた

ことは高校卒業時に、大学や専門学校への進学や就職のための支援のための一人10万円の子育て支援金を3万円に削減したことである。町長は削減提案の理由に「10万円は少し高いと思った」という答弁をしている。制度上「教育は無償」となっているが、実際はどうか。

小学校入学時には子ども一人当たり10万円以上、中学校には20万円以上、高校には30万円以上かかる。この子育て支援金10万円という金額は当時の町は財政再建の途中であったが、若者の子育てを思いやり、作られた制度である。

また、宝達保育所を住民の納得を得られないまま閉所してしまったことである。「保護者の納得の得られる説明会の開催を何度でも

開催すること」、「保護者の納得なしに統廃合はしないこと」という2年前の議員全員賛成の決議を無視したことである(宝達保育所閉所に賛成した議員の中には「保育所や小学校のない所にだれが住みますか」と北大海第一保育所の存続を守る議員の発言があったが)。このように「少子化に対応した予算を組む」と言いながら、行ったことは明らかにその逆である。

また、指定管理制度の運用については、「山の龍宮城」の運営が問題になった。そこに町の臨時職員を採用しておきながら、同じ「山の龍宮城」の炊事場だけを民間委託と称して、同じ臨時職員に無料で貸出するという不可解な指定管理は多くの町民の怒りと誤解を生み、臨時職員の方々に迷惑をかけることにつながった町長の責任は大きい。

国民健康保険特別会計決算についても、子育てという視点で見ると大きな問題を指摘されながら改善できない寶達町長の姿勢の問題がある。それは、国民健康保険に子どもが一人加入すると、その家庭の保険税は均等割りとして子ども一人当たり数万円かかる。県内外では子育てに反するこの制度をなくしていつている。少子化を推

進しているような、子どもの均等割りの徴収をなくすことを求める。また、収入の少ない若者が結婚し、子育てしていくにはあまりにも高い(県内一)上下水道料金だ。子育てに支障が出る料金設定であるばかりか、若者を町外に追いやる料金設定である。だから寶達町長になって少子化の勢いが止まっていない。値下げのお金はあつたから値下げの決断を。

子育てしにくい環境は町にお金がないからではない。

決算特別委員会が「標準財政規模と経常収支比率を考えた予算を」と指摘したのは米出の海沿いに作る新設道路の問題である。この道路を作る利点は時間と言うと2分間の米出インターへの短縮と距離と言うと1.8kmの短縮です。米出区内の町道利用は法律と町民の理解を得て規制すれば可能である。

標準財政規模が50数億円で、経常収支比率が90%を超えている宝達志水町は自由に使えるお金が5億円の町だということである。その5億円を少子化がどんどん進んでいる町で、なくてもいい道路建設に丸々使っているのかということである。

よって、令和元年度の決算を認定できない。

討論!

◎第4回定例会

「議員政治倫理条例の一部を改正する条例」について

賛成



北 信幸 議員

11月1日発行の議会だよりに掲載されている議会改革特別委員会の委員会活動レポートについて、議会改革特別委員会では、「委員会等の公開」、「議員政治倫理条例」について、継続し協議していくとある。今ほど委員長が、提案理由をされた公共事業等の請負契約では、経営者が議員の親族の範囲や議員が事実上支配力を持つ場合などというこ

とが書かれている。今後決定したことは、議会運営委員会に諮り議員協議会を経て、実施されていくとある。

委員会の中では、全会一致でこの倫理規定を設けなければいけないということに議決している。また、広報編集特別委員会の中でも委員長に塚本委員長、委員には林委員も名を重ねている。

こういった事から提案された倫理条例については、賛成をする。

反対



松浦 文治 議員

本案は、二親等の規制を三親等に拡大するとしているが、2年を経て、何か問題があったのか。議会改革特別委員会において、いか

なる審議がなされたか。議員の身分、将来議員を志す方に影響を及ぼす重要なことであり、議会全体での議論が必要である。また、町との請負契約を辞退すべきとあるが、除雪、災害時はどうか。以前に議員のなり手を増やすために請負禁止の緩和、議員報酬の増額が行われたが、2年前の条例制定、そして本改正案はそれに逆行することであり、

本案は議員の門戸をいたずらに狭めることになる。方針を改めるならば、議員報酬の減額も行ってはどうか。本案のような試みにより制度の不安定さや、審議経過の不透明さが露呈している。町民に何か問題があるのかと疑念を抱かれることにながりがかねない。来年度からは、議会の生放送が行われる予定となっている。開かれた議会とあろうとするならば、議会内の議論が開かれたものであると考える。以上、反対討論とする。

国に意見書提出へ

防災・減災、国土強靱化対策の

継続・拡充を求める意見書

提出者 総務産業建設常任委員会副委員長 松浦 文治

要旨

現在、世界は異常な気候変動の影響により、各地において、その甚大な被害を受けており、我が国でも豪雨やそれによる河川の氾濫、土砂災害、地震など、自然災害の頻発化・激甚化に毎年さらされている。このような甚大な自然災害に事前から備え、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化は一層その重要性を増しており、喫緊の課題となっている。

こうした状況を受け、国においては、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を策定し、集中的に取り組んでいるが、その期限が令和3年3月末までとなっている。

今後起こり得る大規模自然災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながるよう、「防災・減災、国土強

- 1 令和2年度末期限の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の更なる延長と拡充を行うこと
- 2 地方自治体が国土強靱化地域計画に基づき実施する対策に必要な予算の総額確保を図ること
- 3 災害復旧・災害関連予算の確保や補助対象の拡大を図るとともに、国土強靱化のための財源を安定的に確保するための措置を講ずること。また、その配分に当たっては、社会資本整備の遅れている地方に十分配慮すること

町政を問う

議員8人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

	ページ
■北本 俊一 議員 ・今後の施策をどのように考えているのか	8
■岩根 信水 議員 ・中学3年生（受験生）の状況・コロナ対策は ・災害に備えるため、戸別受信機の普及を	9
■松浦 文治 議員 ・マンホールトイレの整備を ・区道や私道についても除雪出動を	10
■林 稔 議員 ・若者家族の新築住宅取得を後押しせよ ・デマンドタクシーの料金を値下げできないか	11
■勝二 正人 議員 ・宝浪漫フリーランを実施した効果は ・銀杏並木（東野・農場跡地）を観光スポットしての活用を （その他の質問）消防団員確保と資格取得について	12
■守田 幸則 議員 ・4年間の行政運営は ・将来の児童数でも小学校5校必要か ・DMOの構築は連携機関の理解が必要	13
■塚本 勇仁 議員 ・志雄インターチェンジの開設を	14
■小島 昌治 議員 ・医療や介護など高齢者関連施設での新型コロナ検査を ・新型コロナ感染症の経済影響調査と対策を （その他の質問）・ケーブルテレビ事業の業者選定の入札を ・農業振興について	15



北本 俊一 議員

今後の施策をどのように考えているのか

町の魅力、施策のプロモーションを徹底的に実施する

問 北本議員

寶達町政ができ、4年がたとうとしているが、これまでの実績をお聞きする。

1 点目に下水道料金の値下げ。2 点目に公共施設使用料の値下げを行い、子どもの使用料は無料となった。また、駅前駐車場の利用も



▲無料となった駅前駐車場

無料となった。3 点目に北大海第一保育所の大規模改修工事、来年度には中央保育所が改修予定である。4 点目に若者定住、子育て支援。近隣の市の施策に比べ金額は多い。5 点目には、新型コロナ対策である。特別委員会を設置し執行部と協議を重ね、町民の安心安全、命を守る施策にも取り組んでいる。

これらのことを踏まえ、今後の施策はどのように考えているのか。1 点目として、インフラ整備である。本町には5本の主要道路が走っており、あとは、縦

のアクセスを入れれば、よくなると考える。2 点目として、若い夫婦に移住してもらえようという学力とスポーツの盛んな町にする。

今、少子化が問題となっているのは、若者が定住しないからだと思われる。現在、本町には賃貸アパートが7棟建ったと聞いているが、まだまだ足りない。また、近くに商業集積や保育所、小学校があれば一番いいのではないかと。そして、宅地造成も進める。そうしなければ、町の発展はないと考える。

現在、本町の実質公債費比率は6.2%で金沢に次いで2番目である。この財政の良いときに目いっぱい予算を打ち、将来の町のために立派な町政をつくっていただきたい。

答 寶達町長

町民ファーストの精神の下、町政運営に取り組み、まずは、町民との対話を実施するため、就任初年度に36か所でタウンミーティングを開催し、町民の皆様から様々な意見をいただき、各種施策に反映させてきた。

主な取組として、下水道基本料金や保育料の無償化前の一部減額などを実施したほか、保育所・小学校統廃合については、保育所は4か所で維持することを決め、小学校につい



▲宝浪漫マラソン (令和元年度)

ては、今後の人口推移、新型コロナウイルス感染症の収束を見極めて検討していく。さらに、宝浪漫マラソンの開催に取り組み、本町の魅力を発信し、交流人口の拡大につながる重要なイベントに育ちつつあると考えている。

今後の施策については、現在、定住施策としてマイホーム取得奨励金の拡充や住宅団地適地調査を行っているほか、子育て施策として遊戯施設整備に着手している。今後は、商業施設が集積や特産品の販売や町の施策についてPRするイベントの開催、施設整備の検討を行いたい。そして、個々の施策の充実を図るとともに様々な町の魅力・施策のプロモーションを徹底的に実施していきたい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



岩根 信水 議員

中学三年生 (受験生) の 状況・コロナ対策は

現状で問題はなく 今後も万全を期す

問 岩根議員
高校入試の日程は例年通り実施されるものと認識している。
今年度の受験生は新型コロナウイルス感染症の影響で例年よりも特殊な環境下での受験となる。
そこで、中学三年生(受験生)の状況について、学習進度は追いついているか、生徒の

メンタル状況はどうか、校内での新型コロナウイルス感染症予防対策は万全か、などについて教えていただきたい。
また、万が一にでも校内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対策についてお示しいただきたい。

答 細江教育長
学習進度は、追いついている。
学校では、生徒の様子を共通理解するため、生徒理解の会を設け、全職員で共通の指導を行っている。

感染対策は換気や三密回避を徹底しているが、感染者発生時は3日程度の臨時休業になるものと思われる。

災害に備えるため 戸別受信機の普及を

必要に応じて 導入・普及を検討する

問 岩根議員
近年、大雨や台風による災害が頻繁に発生している。雨の音や暴風の影響、あるいは住宅の二重サッシや複層ガラスの影響で屋外の防災無線が聞こえにくい状況が発生している。
そこで、本町の戸別受信機の普及率と、規則に定める戸別受信機及び防災ラジオの貸与の承認要件を教えてください。
また、行政の方から防災無線が聞こえない地域または住宅の世帯に戸別受信機等を勧め

答 宮本危機管理室長
戸別受信機等は防災ラジオ3台を貸与している。

戸別受信機及び防災ラジオの貸与申請に伴う承認要件は、町内に住所を有する者で、貸与申請によりその承認を受けた者に貸与することとしている。
町では町民向けの災害情報伝達手段として、「安心ほっとメール」の普及や、防災行政無線の放送内容を電話で確認できるサービスの提供等を優先的に進めてきた。

今後は、それらの情報伝達が難しく、受信

環境の改善が必要と認められる世帯について戸別受信機等の導入・普及を検討していく。

問 岩根議員
危機管理室は職員3名であるが、事故・災害・調査など必要に応じて増員できるか。

答 寶達町長
総務課に兼務者が2名いる。増員は災害・事故等の際に状況判断し、精査して、役場全体で連携する。



▲防災ラジオ



松浦 文治 議員

マンホールトイレの整備を

組立てトイレの配備を進める

問 岩根議員

災害時に下水道のマンホールふたを外して簡易トイレを置き、テントで覆って使用するマンホールトイレは、排せつ物が下水道に直接流れて衛生的なほか、地面と段差なく設置でき、車いす利用者らのバリアフリー対策としても有効であるが、本町での整備状況はどうか。また、整備計画を検討しているのか。

答 寶達町長

マンホールトイレの導入には下水道管との接続工事、平常時の保管場所の確保等の課題があるため、町ではマンホールトイレではなく、組立てトイレの配備を進める計画で、町内17か所の指定避難所に配備することとしている。

本町では、現在災害時に使用できるトイレはどのようなものが用意されているのか。また、その設置場所等は、

区道や私道についても除雪出動を

除雪機械が入れない道路は除雪路線としていない



問 松浦議員

本町の除雪体制について、どのような計画を立てているのか。また、除雪の出動はどのように判断しているのか。

答 寶達町長
国、県および関係機関等と連携を図るための町道路除雪計画を策定し、町が管理する主要幹線道路を主体として、除雪を行うこととしている。また、積雪量が15cmに達すると予想されるときに、職員がパトロールを実施し、状況を把握した上で、業者に除雪出動の連絡を行っている。

基本的に、生活道路に面した町道以外の道路においても一部除雪路線としているが、道路が狭く除雪機械が入れない区道や私道については除雪路線としていない。区長から除雪要請があっても、決められた路線の除雪を速やかに行うよう作業していることから対応は出来かねる。

町民が生活道路として使用している区道や私道でも、区長から町へ除雪出動要請があれば出動可能なのか。出動不可能なのはどのような理由からか。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



林 稔 議員

林 議員 固
まず初めに、必要なのは、住宅地である。町でも考えていると思うが、早く準備をお願いしたい。次は住宅建設である。町には、多くの補助がある。今年度も、40件近くになるように、補正予算も組まれている。宝達志水町での若者家族の新築住宅取得を後押しするために更なる政策を打

若者家族の新築住宅取得を後押しせよ

住宅政策や子育て支援政策を総合的に推進する

てないか。

答 寶達町長

住宅政策については、町では若者家族の新築住宅取得を後押しするために、マイホーム取得奨励金及び三世代ファミリー同居・近居促進事業補助金の事業を行っている。新たな施策として、新婚夫婦に対し引越費用の一部を助成する制度の創設を検討している。定住促進施策については、住宅政策や子育て支援施策などを総合的に推進すると共に、多くの方に町の住みよい環境と支援内容を知っていただけるよう、効果的な広報にも努めていく。

デマンドタクシーの料金を

値下げできないか

運行等の見直しを進め

値下げを含めて検討したい

答 林 議員

2004年から開始したデマンドタクシーは、16年を迎え日本の自治体で3番目とのことであるが、交通システムの更なる発展とサービスの向上で料金の値下げをお願いできないか。

答 寶達町長

来年度中にデマンドタクシー及びコミュニティバスの運行等の見直しを進めていきたいと考えている。

交通安全の観点から毎年50名近くの方々が、免許証の返納をしている。この方々が安心して、病院への通院や買い物が出るように料金の値下げができないか。

朝に予約をして病院へ500円、帰るときに500円かかる。買

ついても、コミュニティバスの利用状況や今後の町の人口動態等を踏まえ、重要な公共交通手段として事業の充実を図りたいと考えており、値下げを含めて料金設定や便数等について検討していきたい。



▲コミュニティバス



勝二 正人 議員

宝浪漫フリーランを 実施した効果は

本町のイメージ向上が図られた

問 勝二議員

宝浪漫マラソンが新型コロナウイルスの影響により中止となり、代替のイベントとしてフリーランが実施され、県内外から多くのランナーが参加したと聞いたが、町における経済効果と参加特典、そして参加人数と参加者の声について問う。また、イベント全体の検証と、来年の開催についても聞きする。

答 寶達町長

完走賞として完走証明書、オリジナル缶バッチとスポーツ飲料を贈った。さらに、ポイ

ントを付与した「ほっぴーさんカード」を提示した。

参加人数は、複数回参加した方を含め、当初予定していた500人を超え、延べ人数722人となった。今年はいくつかの大会が中止になり、「走る」ことに渴望していたラ

ンナーにとって、この新しい形態のマラソンが受け入れられ、「楽しかった」「ありがとう」と好評価と感謝の声が多く寄せられた。イベント全体の検証については、大きな事故、トラブルもなく、多くのランナーに町の魅力に触れる機会を提供でき、本町のイメージ向上が図られたと考えている。来年の開催については、マラソン大会とは別に、FREERUNを一定期間開催することが検討されている。



▲町のPRを兼ねた案内看板

銀杏並木 (東野・農場跡地) を 観光スポットとしての活用を

美観が保たれるよう環境づくりに努める



問 勝二議員

紅葉シーズンには東野地内の農場跡地の銀杏並木が色付き、県内外から多くの方が訪れるため、駐車場対策が必要だと思うがどうか。今後観光スポットとしての活用を検討してはどうか。

答 寶達町長

農場跡地は県有地であり、隣接道路が県道であることから、駐車場対策については、引き続き県に対し安全対策について要望したいと考えている。また、観光スポットとしての活用については、美しい銀杏並木の景観に価値があると考えており、この美観が保たれ、落ち着いた環境の中で安全に楽しむことが出来る環境づくりに努めていきたい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



守田 幸則 議員

4年間の行政運営は

住民のための生きた予算にと
取り組んできた

問 守田議員
町長のこれまで4年
間を振り返り、所信に
述べられた少子高齢化
と人口減少に歯止めを
かけ、地域社会が継続
的な状況を目指すと言
われたが、そのような
行政運営が出来たのか。
小学校統廃合につい
ても、何ら検討すら無
く全く先が見えない状
況であり、想定外に減
少した出生数は、近年

答 寶達町長
就任以降、総合戦略
関連経費としておよそ
2億6千万円を費やし、
民間アパートの建設補
助や児童生徒の検定受
検への補助などのほか、
宝浪漫マラソンの開催、
小学校のエアコン設備
などにも取り組み、住
民のための生きた予算
としてきたところであ
る。
また、まちづくりレ
ターやタウンミーティ

の少子化施策の失敗と
も受け取れるのでは。
事業の見直しや無駄
な予算の削減で、生き
た予算とのことだった
がその効果は。
下水道料金は、単に
500円下げただけで
施策的考えは無かった
のか。
町民の声が集約でき
ているのか。アンケー
ト調査が多くなってき
ている。

問 守田議員
小学校の統合はしな
いのか。
削減された予算は本
当に無駄だったのか。
必要なものもあったの
では。
答 細江教育長
様々な統廃合との関
わりを考え、子どもの
学びが保障されるもの
を今、分析、試行して
いるところである。
答 寶達町長
予算が削減されたオ
ムライスグルメ祭りに
ついては、運営側の事
情によるもので、私の
ときにも1年開催して
おり、続けられるもの
であれば、継続が望ま
しかったと考えている。

ングを実施し、様々な
御意見をいただき、短
期的な問題で早期に実
施できるものは、早急
に対応した。

将来の児童数でも小学校5校必要か
今の状況では、統廃合は難しい
DMOの構築は連携機関の理解が必要
協力して進めていきたい

問 守田議員
現在の児童数と将来
の児童数を考えた時、
小学校の統廃合をどの
ように考えるか。
DMOの体制は、ど
のような団体が入るの
か。事業を継続してい
くためには、各団体の
理解が一番重要で、一
方的な行政指導になっ
ていないか。
答 細江教育長
新型コロナウイルス
の終息が見通せない今
の状況では、統廃合は
難しいと考えている。
答 寶達町長
観光に携わる事業者
や各種団体相互の合意
形成を図りながら、D

MO法人がかじ取り役
となつて事業に取り組
みたい。

問 守田議員
今後、複式学級は。
DMOの核とも言える、
ほっぴーさんカード会
の理解は得られている
のか。
答 細江教育長
押水第一小学校、宝
達小学校で、令和5年
度から複式学級が導入
される予定の学年があ
る。
答 寶達町長
カード会の方と、お
互いをよく理解しなが
ら協力して進めていき
たいと考えている。

MO法人がかじ取り役
となつて事業に取り組
みたい。



塚本 勇仁 議員

志雄インターチェンジの開設を

課題を整理し実施を検討する

問 塚本議員

現在、旧志雄地区から

県庁まで約1時間弱かかるが、これが旧押水地区の場合、県庁まで約30分で行くと言われる。この時間差は、里山道路に乗るまでの時間差ではないかと考えるが、その時間差もた地域差をなくすためにも、志雄インターチェンジの開設が望ましいと考える。

それに伴い、聖川信

号より国道249号までの部分改良等を行うことにより、里山道路に対しての交通アクセスが良くなると思われる。それにより金沢への通

勤時間の短縮につながるのではないかと。

現在、本町からかほく市や津幡町へ若者の流出がかなりあると思われるが、金沢までの所要時間の短縮により若者の定住につながるのではないかと。

また、志雄パーキングについても駐車場が狭く感じられ、インターチェンジを作る際には整備が必要と考える。

しかもパーキング横では、世界でも有数の千里浜なぎさドライブウェイがあり、この浜

辺にパーキングから直接車で乗り入れたり歩いて散策したりできるようにするため、パーキング周辺の整備も必要と考える。

第一には、志雄地区より里山道路に乗るまでの時間短縮のために志雄インターチェンジの開設を願望するものであり、そのためにも期成同盟会など町をあげて、事業推進を図ることを望む。



▲志雄パーキンエリア

答 寶達町長

志雄パーキングのインターチェンジ化と志

雄地区山間部から志雄パーキングまでの改良については、志雄地区や町の象徴でもある千里浜なぎさドライブウェイ、地域交通の大動脈であるのと里山海道とのアクセス性が大きく向上し、町が重要施策として取り組む定住促進や産業振興に大きな効果をもたらし、地



▲千里浜なぎさドライブウェイ

域活性化につながる事業であると考えらる。実現に向けては、J

R七尾線や長者川の横断、志雄パーキング周辺の用地取得のほか多くの課題があるが、これらを整理し、町の将来の発展に向けた事業として実施を検討していきたい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



小島 昌治 議員

医療や介護など高齢者関連施設での新型コロナ検査を

今、医療や介護・福祉・教育関係者にPCR検査を実施する段階ではない

問 小島議員
新型コロナ感染症の第3波が起きている。その特徴は、医療機関や高齢者関連施設で増えているということ。厚生労働省が発表している第3波の高齢者・障がい者・児童施設などの施設で41件、病院や診療所では39件と激増している。ある県の感染者は医療機関と施設で7割を占めている。



▲東京新橋のPCR検査センター
一人1回2900円で誰でも検査が可能

感染させたら重篤な状況に陥る方々がおられるのが病院や診療所、福祉施設。また、クラスターが発生すれば多大な影響を及ぼすのも医療・介護・福祉施設・保育所・学校・児童クラブなどの施設。ここで働く職員の定期的検査を無料で実施する考えはないか。6億を超える町の基金を利用すれば十分、可能である。検査するお金が十分あって感染が発生したら人災である。

答 寶達町長
今は検査を実施する段階でない。
問 安達企画振興課長
対前年同期比はすべての業種を把握しているわけではないが、町が協力して商業やサービス業の分野で(税金も投入し)取組を行ったことにより、1月から10月においては売り上げが、1割増となっている。建設業関連や製造業関連は商工会か

新型コロナ感染症の経済影響調査と対策を 町業者の影響の全てを把握していない

問 小島議員
町自営業者の方々の新型コロナ感染症による影響の把握はできているか。また、非正規及び正規の労働者の方々の影響をつかんでいるか。
答 小島議員
(状況を把握していないのは大問題)
コロナ禍の下、なぜ、町民の方々の経済状況を把握することが大事なのかは、命にかかわる問題だからである。全国で今、経済的理由により病院に受診した時が「手遅れ」で亡くなっている事例が増えていると報告されている。町の一般会計から

病院への繰出しで宝達志水病院を法律により、低収入の方を救う「無料・低額診療の病院」と位置付けて安心して病院にかかってもらうことが重要だが。

答 高木健康づくり推進室長
(無料・低額診療はしないが)相談があれば福祉制度などの相談につなげたい。

無料低額診療

石川県内では、済生会病院や城北病院など12以上の病院で「無料・低額診療」が行われている。
利用対象者は、1か月の収入が生活保護基準の120%から140%。医療相談員との面談で決定される。

特別委員会等審議

決算特別委員会

(10月19日)
11月13・16・17日

ではないか。

雨具は支給していない。検討する。

避難所における避難者への備蓄品の充足状況は。

現状の避難施設で受入れできる避難者総数は、1,200名余りで、資機材等の購入の目標としている。

防災行政無線の個別受信機の整備が必要ではないか。(特に高齢者宅)

防災行政無線が聞こえにくいことは承知しており、配慮が必要な方への整備が課題である。

過去5年間の出生数は。

Table with 2 columns: Year (平成27-30, 令和元), Birth count (54, 61, 64, 65, 38)

まれていない。

転出する若者の転出理由を把握する方法はあるか。

通常、住民異動届の際に手続き上必要な事項しか聴取していないが、該当者に転出届出の際に任意でアンケートをとることは可能である。

若者通勤サポート事業で以前に対象年齢拡大の提案をしたが、検討したのか。

30歳未満の人に本町に残ってほしいという目的でこの制度ができた経緯から、30歳から45歳を対象とするならばUターンの人を対象にという案ができたが、その場合、要件に該当する人数見込みが10人程度となり、一旦見送ることとなった。

向上を図る取組を進めてほしい。

デマンドタクシーの利用者数は減少傾向であるが、コミュニティバスは増加傾向にある。主要施策の成果に記載の課題を踏まえ、令和2・3年度にかけて地域公共交通網形成計画を策定することとしており、効果的な運用について検討していく。



▲コミュニティバス

現地を確認のうえ、対応したい。

民間賃貸住宅建設事業はある程度目的を達成したのではないか。

7棟42戸が建設されて入居率が95%である。

下水道建設当時の分担金が違うのは行政として問題なのではないか。(米出が今浜に流れていることについて)

今になって、米出に分担金の差額を徴収はできない。検討する。

イチジクの販路拡大のPR活動について、東京でのPRの際、不手際はなかったか。

卸売業の東京青果には、千正屋でのPRの際には連絡を取っていなかったため、JAを通じてクレームがあった。

古墳の湯の植栽管理で、放置されたままになっていく箇所が見受けられるので、改善されたい。

聞き取り審査内容
消防団員の装備品(雨具)は支給しているのか。支給していない場合、災害時、警戒時には外での作業があるが、支給すべき

会期中の
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(12月4日)

者受け入れ医療機関への協力金として800万円の計7,900万円余が歳入済みまたは一部歳入予定である。

に言って、赤字を解消している状況であるが、11月から3月までの状況次第である。

問 発熱外来の稼働状況は。

答 1日に1人から4人が受診している状況である。

問 高齢者の「嚙下」の状態を見るための検査機器を今回、購入する予算が計上されているが、半額は国から交付税として町の一般会計に入り、それが病院会計に繰り入れることになるが、しっかり病院会計に入っているか。

答 入っている。

問 宝達志水病院の医師の確保について、医師の研修制度が昔と変わってしまったのだから、院長や病院事務局長だけに、診療以外の重い責任を任せているという昔ながらの「医師確保」は難しいと

感じている。町をあげての宝達志水病院の「医師確保の戦略」を持つ必要性がある。医師がいての病院である。この病院の存続のためには今、「戦略」持つことである。

問 県内大学の医局との関係

を大事にすると同時に、将来を見据えていくことが確かに大事である。

教育厚生常任委員会

(12月7日)

問 高齢者利用施設である宝

寿荘は、特別な除染対策が必要だと思われるが、今の管理費でいいのか。コロナ対応の管理費が必要ではないか。

答 令和3年度予算については現在作成中であり、社会福祉協議会にも予算方針を確認したい。

問 介護事業者は、6年前に比べて介護報酬が減っており、介護倒産が過去最

宝寿荘の利用者数は、4、5月は閉めていたため減少したが、10月は78.8%まで回復した。11月には、またコロナの影響で61.

問 新型コロナウイルス感染症に対応する病院として

県から宝達志水病院が依頼され、4月からその実践をしてきたが、国や県からの宝達志水病院への助成などはあるか。

答 ①新型コロナウイルス感染症の指定病院への支援

事業として、国・県から3,000万円、②インフルエンザ流行期の新型コロナウイルス感染症の患者の受け入れの指定病院への協力金として2,000万円、③患者入院のための病床確保に1,380万円、④インフルエンザ流行期の発熱外来開設に730万円、⑤新型コロナウイルス感染症患

問 4月からの新型コロナウイルス感染症の病院収入

への大きな減収が考えられるが、どれほどの減収であり、その減収が今回の国や県からの助成金で賄えているのかどうか。そして年度内、3月までの見通しは。

答 4月から6月までの新型コロナウイルス感染症の影響による減収は昨年度比で、2,700万円と厳しかったが、7月から10月まで徐々に回復してきていた。しかし、11月は未だ、診療報酬が入ってきていないので分からないが、感染の第3波との関係が新たな減収傾向にある。現段階では国・県からの助成金が大き



▲老人福祉センター宝寿荘

5%となった。利用の方等、考えていきたい。

多になっている。介護事業所の状況はどうなのか、町として調査するのか。

答 状況は、利用者、介護報酬を含め持ち直しているのと把握している。今後、制度改正による介護報酬改正がある中、町として調査し確認していく。

問 大学生等支援事業について、大学生の対象者が516人と明確な数字が出ているが、どのように補助金の通知をしたのか。また、大学生の名簿は町にあるのか。

答 516人の積算方法は、大学1年生から4年生の年齢となる当時の中学校卒業生に対し、国の学校基本調査に基づく大学等進学率を乗じて算出した。

補助金の案内は、町広報、町ホームページ、全戸配布により行った。高校・大学の進学先等は、個人的情報となるため町とし

ては把握していない。

問 中学校教育支援費の大学生による学習サポートの実施について、受講希望者数は。

答 中学3年生100人に対し金沢育成センターの受講者は76人、1月の学習サポートは36人である。

問 若い世代には、コロナに感染しても無症状の人もいることから、50人分のPCR検査の予算を活用して、大学生サポーターに対し実施してはどうか。

答 PCR検査は有効な手段だと思いが、検査後に判明する場合がありますので大学生への実施は予定していない。

問 大学生へのPCR検査を行わないのであれば、コロナ感染予防としてアクリル板の設置を考えているのか。

答 大学生の学習サポートについては講義形式ではなく、生徒から質疑があった場合に対して回答をすることから、アクリル板の設置は考えていない。

問 中学生による学習サポートは、県内の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、中止となりました。

問 修学旅行について、中止以外に選択肢はなかったのか。

答 当初は3月に関東方面で予定していたが、新型コロナウイルスの影響により9月に延期した。その後、関東方面、関西方面でも感染が拡大したため、県内の加賀地区で計画したが加賀市でも感染者が出始めたため、最終的には修学旅行の代わりに校外学習として、国立能登青少年の家において、日帰りの交流活動とした。

問 宝のなぎさ交流事業で、開発業者を募集するにあたり、町が設置したモニ

総務産業建設常任委員会

(12月9日)

問 中学校スクールバスの白山公園バス停の電灯が小さく、途中の通学路も暗い。早急に対応できる体制を取っていただきたい。

答 必要な場所には、設置していきたい。

問 固定資産税について、今回初めて、現況に合わせて課税することが通知された。住民に建物を敷地内に建てた場合、町に届け出てもらうように町広報などで周知してほしい。

答 今回、現況と登記の異なっている60人余りの方に新たに課税した。今後は周知していくよう検討したい。

問 宝のなぎさ交流事業で、開発業者を募集するにあたり、町が設置したモニ

ユメント付近は、本町の観光事業にとっては、重要な用地であることから、募集する用地から除外できないか。用地全てを開発業者に貸与すると、町民がPR等をする場所がなくなることから、町民がPR等を自由にできる場所を確保するべきではないのか。

答 開発事業者から事業提案があった場合は、観光にとって重要地であることと理解いただき、PRを含めた提案にしてみたいと考えている。



▲今浜海岸に建つモニユメント

問 開発事業者からの事業提案でモニユメントを移動する場合、費用は町が負担するのか。

答 費用は町が負担することとなるが、原則移動しないことを想定している。町にとっても提案事業者にとっても重要地であることから、この一角を除く外するかは確約できないが、用地の重要性を認識したうえで公募方法を検討したい。

問 県と町の共有地の利用は、県と協議を進めているのか。

答 以前から県に相談しており、事業が地域振興に資する場合は、県としても持ち分を町に売却する場合もあることから、具体的な計画があり次第、県と協議を進めたい。

問 プレミアム付き商品券の町民からの意見について、

5冊単位に限定した販売方法について不満の声を聞いているが、一人暮らしや弱い弱者に目を向けた販売方法を町としてできないか。

答 5冊単位限定での販売は、販売場所の郵便局が年賀状対応で繁忙期に入ることから、今回は、商工会と郵便局の協議により対応可能な5冊単位での販売となった。

問 区道整備等補助金について、下石地内の山腹復旧工事を行っているのであれば、担当課の相違はあれど行政側で調整して整備してあげても良いのではないか。

答 農林水産課と協議をしたが、今回の災害箇所と離れていることと集落からの要望もあつたため、補正予算を計上した。

問 若者定住の促進をしているのであれば、町営住宅退去後の異動先を把握する必要があると思う。町内に引き留めるような施策を考えるべきである。

答 退去後にアンケート等を実施し、状況の把握を検討したい。

問 処理場の汚泥運搬時などにおいて、風向きも影響していると思うが臭いを感ずると聞いている。月1、2回は複数の町職員で処理場の状態を管理監督してほしい。

答 管理監督の立場でできるだけ処理場へ行き、臭いも含め管理者に指示及び指導を行い、維持管理したいと考えている。

常任委員会合同視察報告

能登町・穴水町（11月5日～6日）

教育厚生常任委員会委員長 林 稔

能登町では、議会本会議の生放送とインターネット配信について説明を受けました。今年度から、能登町では議会資料のペーパーレス化を目指し、タブレットが導入されており、今までのタブレットのメリット、デメリットについて学ぶことが出来ました。この事を今後の議会に活かしていきたいと思えます。

また、二日目には、穴水町の「能登ワイン」を訪れました。ここには、穴水町の地域おこし協力隊で6次産業（生業創出）支援員が働いており、ワインの魅力を発信し、町おこしに力を注いでおります。能登ワイン工場の周りは広大な葡萄畑が広がっており、この葡萄を使用した醸造所を見学し、ワイン造りの工程を学びました。

宝達志水町の進むべき道について、考えさせられた視察研修でした。



▲タブレットの説明を受ける

議会広報の表紙写真は？

議会広報の表紙写真は、議会の広報編集委員会で決め、撮影を行います。ここ数年間は「季節ごとの、町の子どもたちの元気な笑顔」がテーマでした。

今年のテーマは？

「宝達志水町を裏方で支える方々」をテーマに、町民の皆様方に様々な場所で「町を支えてくださっている」方々を紹介する目的で、表紙を飾っていただきます。そのことがなにより、我々議員一人一人を初心に帰らせることにもつながるでしょう。

○編集後記

1月の大雪で、昼夜を問わず除雪車を稼働させ続けた皆さんに心から感謝し、お礼申し上げます。そのおかげで、町議会広報編集特別委員会も、子ども見守り隊の方々を撮影することができました。

お知らせ

**令和3年
第1回定例会本会議の日程**

〔開会〕 2月25日(木) 午前10時 〔再開〕 3月5日(金) 午後2時

◎傍聴のご案内

議会では、予算や条例をはじめ、町のさまざまな案件を議論し、採決が行われます。傍聴は、町議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

■受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局（庁舎3階）で受付いたします。

■手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎傍聴をされる方へのお願い

新型コロナウイルス感染防止のため、人数を制限するなど感染防止対策にご協力ください。

- ・受付時に検温をさせていただきます。
- ・マスクの着用・手指消毒にご協力をお願いいたします。
- ・傍聴席を制限しております。（21席→10席）間隔を空けてご着席ください。（新型コロナウイルスの状況により、変更する場合があります。）

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

令和3年2月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者/議長 柴田 捷

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

E-mail gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者/塚本 勇仁

広報編集特別委員会

委員長 塚本 勇仁

副委員長 小島 昌治

委員 守田 幸則

委員 土上 猛

委員 林 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。